

玉井幸助文庫

初代短期大学学長、第2代学長である玉井幸助（1882－1969）から寄贈され、昭和47（1972）年3月に文庫を設立した。

玉井は、日記文学の第一人者で、『日記文学概説』（昭和20（1945）年）と学長就任中に発行した『日記文学の研究』（昭和40（1965）年）は日記文学の不朽の名著として評価が高い。

日本古典文学関係を中心に和装本約80冊を含む資料を収蔵している。